

市立島田市民病院では、抗 MRSA 薬について使用届を使用前に提出し、ICD が確認をする「届出制」を行ってきたが、更なる抗菌薬の適正使用の取り組みの一環として 2008 年 8 月 1 日より

- ・ 第四世代セファロスポリン系抗菌薬
- ・ カルバペネム系抗菌薬
- ・ ニューキノロン系抗菌薬

の3系統の注射薬も「届出制」対象とした。

また、抗 MRSA 薬の中において LZD(ザイボックス®)及び DAP(キュービシン®)については、ICD 許可制として取り組み、今日に至っている。

昨年に引き続き、本院の抗菌薬の使用について 2007 年度からのデータをまとめた。

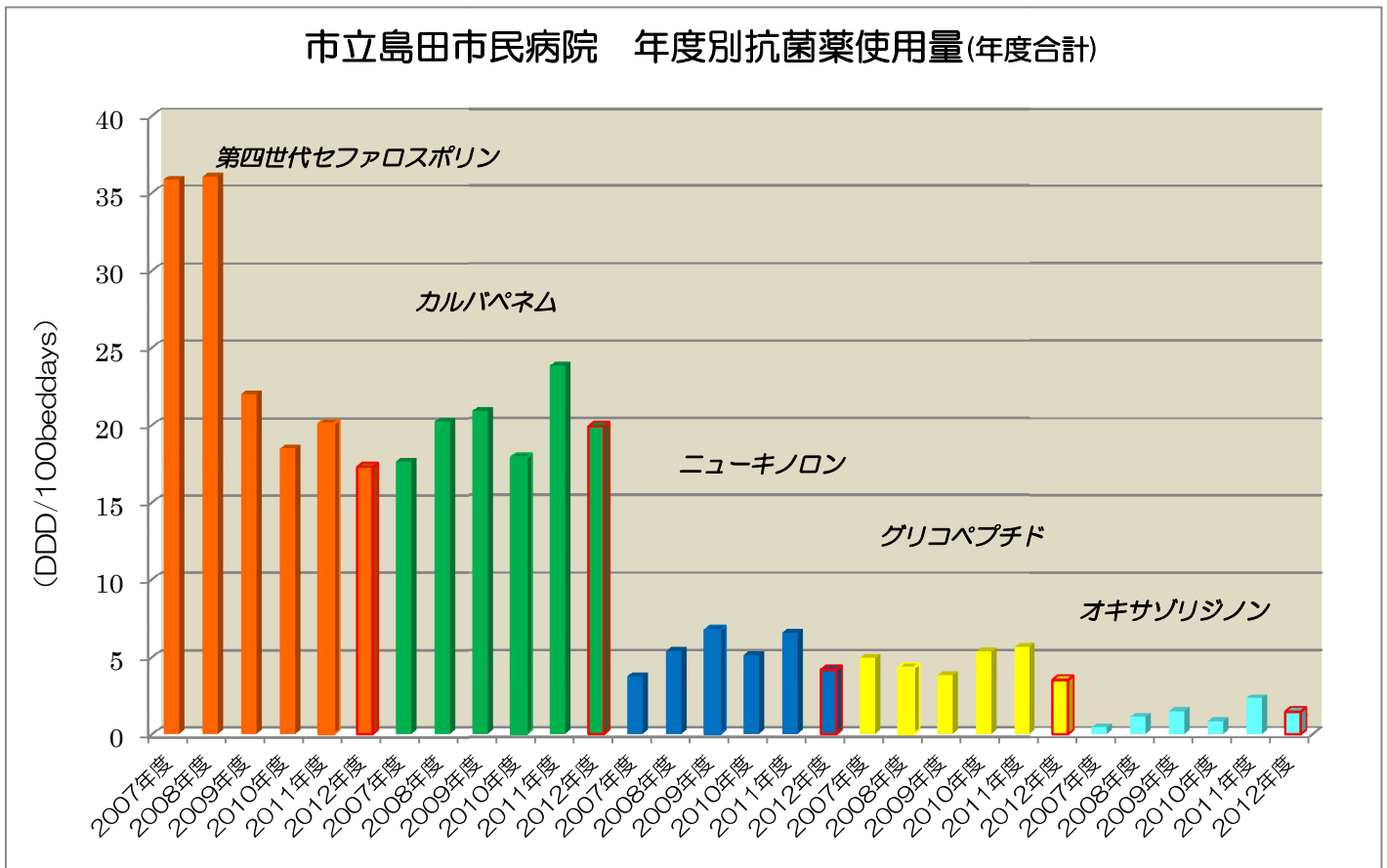
2007 年 4 月 1 日からの抗菌薬使用量を ATC/DDD システムを用いて算出し、その中から、上記3系統の薬剤+グリコペプチド系+オキサゾリジノン系の計5系統について年度毎の推移を示した。

結果として、2008 年度の届出制導入後、5 系統抗菌薬の使用に対して院内で意識付けができていたものと判断する。2012 年度は結果として全系統の抗菌薬使用については 2011 年度を若干ではあるが下回る結果となった。(グラフ I)。

2012 年度は患者数の上下、診療科の縮小や一部の診療科の一定期間の閉鎖状況等があり、2011 年度までの状況とは基本的に違うなかでの結果であるので、2013 年度の抗菌薬使用状況が、どのように変化していくか注意深くみていく必要がある。

抗菌薬の後発品導入は、2011 年度までに一段落しており、2012 年度抗菌薬の後発品への切り替えは内服薬、外用薬で行い、注射薬において切り替えはおこなわなかった。

＝グラフ I＝



届出制：届出先は薬剤部 薬局、情報の管理は電子カルテシステム内。

届出は電子カルテコミュニケーション（院内メール）あるいは届出用紙（専用フォーマット有り）

2013年5月

市立島田市民病院 薬剤部 ICT ヌバ-

薬剤部 医薬品情報室